

21 世紀 COE プログラム 公開講演会

24 年間のアラブ・イスラーム学院の 日本でのアラビア語教育と e ラーニング

● 講 師 ●

ムハンマド・ハサン・アルジール

Muhammad Hassan Alzeer

(イマーム・ムハンマド・イブン・サウード・イスラーム大学東京分校
アラブ イスラーム学院長)

● 日 時 ●

2006 年 2 月 25 日 (土) 午後 2 時～4 時

● 場 所 ●

同志社大学 今出川校地 扶桑館 2 階マルディメディアルーム 2

○共 催：同志社大学一神教学際研究センター
同志社大学神学部・神学研究科

○お問い合わせ

同志社大学一神教学際研究センター (CISMOR)

TEL: 075-251-3972 E-mail: staff@cismor.jp HP: <http://www.cismor.jp/>

《プログラム》

司 会 四戸潤弥（同志社大学神学研究科教授）

1) 挨拶 森 孝一（同志社大学神学研究科教授）

2) 講演 ムハンマド・ハサン・アルジール

（イマーム・ムハンマド・イブン・サウード・イスラーム大学東京分校
アラブ・イスラーム学院長）

「24年間のアラブ・イスラーム学院の

日本でのアラビア語教育とeラーニング」

3) コメント サミール・ヌーハ（同志社大学神学研究科教授）

4) 質疑応答

《講 師 紹 介》

ムハンマド・ハサン・アルジール／Dr. Muhammad Hassan Alzeer

1953 年生まれ。1982 年にカイロ大学にて文学博士号を主席で取得。現在は、聖クルアーンにおける比喩的表現、イスラーム上の物語、イスラームにおける人間的自由、イスラーム伝道上の文学などを研究課題とする。主要著作に『ウマイヤ朝詩における生死観念』（リヤード、1989 年）など。サウジアラビアではテレビ番組にも多数出演した。

=====

《アラブ イスラーム学院について》

アラブ イスラーム学院は、1982 年に在日サウジアラビア王国大使館付属の文化センターとして発足した、サウジアラビアの国立大学 イマーム・ムハンマド・イブン・サウード・イスラーム大学の東京分校です。アラビア語を正しく伝え、イスラーム文化の伝承を図るために、サウジアラビア王国の継続的且つ全面的な財政支援を得て運営されています。

学院では、1) アラブ文化に興味を抱く人達へのアラビア語授業の提供 2) イスラームの紹介並びにアラブ・イスラーム文化に関する情報の提供 3) アラビア語とイスラームに関する研究及び学術著作の日本語翻訳と、日本におけるイスラーム研究成果のアラビア語翻訳を目指し、日本とサウジアラビア王国並びにアラブ、イスラーム諸国間の文化交流、相互理解を図り、友好関係の強化に尽力しています。

(アラブ イスラーム学院ウェブサイト : <http://www.ait-t.org/>)

今後の予定

【主催】日本基督教学会近畿支部会

【共催】同志社大学神学部・神学研究科／一神教学際研究センター

公開シンポジウム

☆山折哲雄（国際日本文化研究センター名誉教授）

「日本宗教から一神教への提言」

☆パネリスト 森 孝一（同志社大学神学研究科教授）

手島勲矢（大阪産業大学人間環境学研究科教授）

山折 哲雄

☆日時 3月15日（水）2時～5時

☆会場 同志社大学今出川キャンパス 神学館3階 礼拝堂

（京都市営地下鉄今出川駅③番出口より徒歩3分）

聴講無料・事前申し込み不要

問合せ先：同志社大学一神教学際研究センター（CISMOR）

住所：京都市上京区今出川通烏丸東入

Tel: 075-251-3972 E-mail : staff@cismor.jp

HP: <http://www.cismor.jp/>

「アラブ イスラーム学院のアラビア語教育と遠隔教育の努力
—24年間（1982－2005）を振り返って」

1. 初めに

- ア. アラブ・イスラームと日本の関係
- イ. サウジアラビアと日本の関係
- ウ. 関係強化と相互理解のためのアラビア語の重要性
- エ. 日本のアラビア語教育について

2. アラブ イスラーム学院紹介

- ア. 目的と発展
- イ. 試みの進展

3. 第二語学としての教育

- ア. 困難と問題点
- イ. 最善の学習方法

4. 当学院の試み

- ア. 当学院のプログラム
- イ. 当学院の方法 —『東京シリーズ』
 - 同シリーズの目的
 - 対象者
 - 同シリーズへの充当時間
 - 文化的内容
 - 同シリーズの内容
 - ・ 教科書と水準
 - ・ 学習手段
 - ・ 教授の仕方
 - ・ 当学院のホーム・ページ

5. 最後に — コメントと助言

ملخص المحاضرة التي ستقدم في جامعة دوشيشا، كيوتو

26 فبراير 2006

أ.د. محمد بن حسين الزير

جهود المعهد العربي الإسلامي في طوكيو في تعليم اللغة العربية ،

والتعليم عن بعد خلال 24 سنة (1982 – 2005)

1. تمهيد

- أ- العلاقات الإسلامية و العربية اليابانية .
- ب- العلاقات السعودية اليابانية .
- ج- أهمية اللغة العربية في تدعيم العلاقات و الفهم المتبادل .
- د - نبذه عن اللغة العربية في اليابان .

2. المعهد العربي الإسلامي

- أ - نشأته و أهدافه
- ب - تطوير تجربته

3. تعليم اللغة الثانية و تعلمها

- أ - الصعوبات و المشكلات
- ت- أفضل الطرق للتعليم

4. تجربة المعهد العربي الإسلامي في التعليم

- أ - برامج المعهد
- ب - مناهج المعهد التعليمية (سلسلة طوكيو) :
- أهداف السلسلة
- المستهدفون (جمهور السلسلة)
- الزمن المخصص للسلسلة
- المحتوي الثقافي
- مكونات السلسلة :
- الكتب و المستويات
- الوسائل التعليمية
- طريقة التدريس
- موقع المعهد على الإنترنت

5. خاتمة (ملحوظات و مقترحات)

Summary of the Lecture at the Doshisha University

February 25, 2006

Prof. Dr. Muhammad bin Hassan Al-Zeer

Efforts of the Arabic Islamic Institute in Tokyo of Teaching Arabic and Remote Instruction in the last 24 Years (1982-2005)

1. Foreword
 - a. Relations between Arab-Islam and Japan
 - b. Relations between Saudi Arabia and Japan
 - c. Importance of Arabic for enhancing relations and mutual understanding
 - d. On teaching Arabic in Japan
2. About the Arabic Islamic Institute
 - a. Objectives and development
 - b. Progress of the experiments
3. Teaching as the Second Foreign Language
 - a. Difficulties and problems
 - b. The best teaching method
4. Some Experiments of the Institute
 - a. Programs
 - b. Methods of the Institute – “Tokyo Series ”
 - Goals
 - Learners in target
 - Hours allocated for the Tokyo Series
 - A cultural content
 - Contents of the Tokyo Series
 - Textbooks and levels
 - Teaching tools
 - Teaching methods
 - Homepage of the Institute
5. Concluding Remarks – Some comments and advices